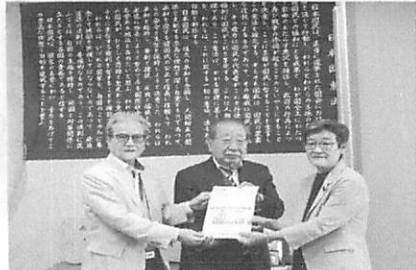


治安維持法犠牲者への国家賠償法の制定を！ 第50回国会請願行動—11万を超える署名—

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟



開会のあいさつ
吉田万三会長



倉林明子議員に署名提出



北海道から参加の菱谷良一さん

(588号付録)
 京都版 第445号
 2023年6月15日
**治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟**
 京都府本部
 〒604-8832京都市中京区
 壬生下溝町 51-41
 (電) 075-312-8787
 fax 075-325-3863
 info@kokubai-kyoto.com
 ホームページ
<https://kokubai-kyoto.com>

5月16日、治安維持法犠牲者への国家賠償法の制定を求める国会請願に参加してきました。今年、50回目で全国から130名を超える代表が参加し、120名の衆・参国會議員へ訪問、11万を超える署名を提出しました。

開会の挨拶で吉田万三会長は、「政府は戦争できる国から戦争する国へギアチェンジしている。緊迫した情勢だ。一層活動を進めましょう」と呼びかけました。

北海道からは、1941年の弾圧事件の一つの「生活凶画事件」の被害者の菱谷良一さん(101歳)が、仲間に支えられ参加されました。菱谷さんは、「私の息の続く限り、この不当を訴え続ける、世界が平和と自由に満ちていくよう、皆さんと頑張りたい」と述べると会場から大きな拍手が沸きおきました。この後、菱谷さんは、憲法学者の小林節氏と対談をしました。

京都関係は、6議員へ訪問、共産党の穀田恵二・井上哲士・倉林明子の3議員が紹介議員に。残念ながら立憲民主党の泉健太・福山哲郎・山井和則の3議員には紹介議員になつて頂けませんでした。大変残念です。

岸田政権が、戦争する国づくりを進める緊迫した情勢のもと、先人たちの稀代の悪法「治安維持法」の弾圧に屈せず不屈に戦い抜いた強い思いを受け継ぎ、平和憲法を守る戦いがますます重要です。

治安維持法国賠同盟
兵庫県本部40周年記念
集会に参加して

会長 原田 完

治安維持法国賠同盟兵庫県本部40周年記念集会開催される！

5月13日、神戸市内で治安維持法国賠同盟兵庫県本部40周年記念集会が開催され、京都府本部からも原田会長と藪田事務局長がお祝いに参加してきました。

40周年記念集会オープニングはアコオーディオン演奏で始まり、兵庫県本部築谷兵庫県本部会長が開会のあいさつを行い、続いて吉田万三中央本部会長の記念講演が行われました。

記念講演では5つの課題で話されましたが、今日の情勢

として自民党安倍政権からの戦争する国づくりの危険な状態や岸田政権がより戦争への足を踏み込んだ予算措置へと、より一層深刻な事態への現状を厳しく指摘をし、同時に敵

基地攻撃能力の強化等がより一層危険な道であること。日本の自給率低下で武力武装、基地の地下化を行っても、食糧安保、自給率高上のない日本は国民生活が守れない。平和外交への道以外にないことを強調されていました。

同時に政治の反動化の流れを自らの経験、足立区長時代の自民党の攻撃や一部資本家への利益誘導で私たち庶民の暮らしを考えない利権政治の危険性も報告されました。記念講演後に、来賓の挨拶や功労者紹介、40年の年表紹介が行われて一部の式典は終了しました。

第68回
京都解放運動戦士の碑
合祀追悼祭開かれる！

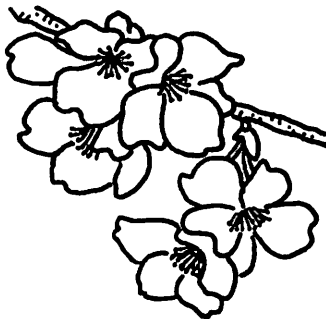
社会進歩の運動に尽力した個人を追悼し、偉業を引き継ぐことを誓いあう、第68回京都解放運動戦士の碑合祀追悼祭が5月14日、京都市東山区の知恩院境内の集會堂で開催され、170人が参加しました。

新たに78人を合祀し、合祀者は3340人になりました。新合祀者については、一人ひとりの読み上げて紹介されました。治安維持法国賠同盟の故宮城日出年さん、故三双順子さんも今回新合祀者として紹介されました。

解放運動戦士の碑維持委員会を代表して森田しのぶさんがあいさつ。改憲や「敵基地

攻撃能力」保有などに突き進む岸田内閣を批判。戦争する国への動きが加速するなか、平和と人権が守られる政治へ遺志を引き継ぎ奮闘する決意を誓いあいました。

穀田恵二衆議院議員、梶川憲京都総評議長、上垣直一農民組合会長、京都いしずえ会の袖岡勝会長が追討の言葉をのべました。



犠牲者名簿づくりの

途上にて

「戦前期大阪外語社
研」研究会総会に
参加してー

副会長 佐藤和夫

「京都の民主運動史を語る会」の代表・井口一起さんと「京大・河上会」前事務局長の山本正志さんと国賠同盟京都府本の佐藤の3人で5月21日、大阪府教育会館で行われた「戦前期大阪外語社研」研究会の総会に参加しました。

2025年は治安維持法制定100周年あたり、内地適用第一号の「京都学連事件」被告全員は、京都関連犠牲者名簿の対象者なのだと思われ痛感しました。

大阪外語学校の社研2名が弾圧を受ける

治安維持法で弾圧された学生社会科学連合会に参加した全国の社研の学生の中には、大阪外語学校生が、二人いました。黒川健三と原田 耕です。「大阪外語社研」研究会代表の成瀬龍夫さんは、「大阪大学外国語学部100年史」に戦前の母校大阪外語学校の学生が治安維持法で検挙され除籍・退学処分になったことを記載させました。また、同会副代表の松浦由美子さんは、民衆史研究の立場から治安維持法の弾圧を受けた大阪外語関係者38人が逮捕・退学処分を受けたことを発掘しました。彼らの実績の徹底解明と名誉回復を同会として大学当局に申し入れしていました。

ロシア語教師・「ネフヤん」

は遠野の『おしらさま』研究の日本通

当日は大阪外語の初代露語露人教師、ニコライ・ネフスキー研究を生田美智子大阪大学名誉教授が記念講演をしました。学生からは「ネフヤん」と親しまれた民俗学・文化人類学者でもありました。京都帝国大学の非常勤講師時代の教え子には、京都学連事件の石田英一郎がいました。石田は1926年に検挙され1928年から1934年まで禁固刑となりました。ネフスキー先生は1929年ソ連に帰国し、レニングラード東洋学院大学とソ連科学アカデミー東洋学研究所研究員の兼任となりましたが、1937年にソ連の内務人民委員部(特高のような治安機関)に逮捕され銃殺されました。敵性国家・日本からのスパイとしてスターリン大粛清の犠牲者となった

わけです。

オンライン参加の成瀬代表から京都学連事件100周年の記念事業の訴え

大学の公認の歴史では、治安維持法の検挙者は、マイナスの評価があたえられ、訓戒・停学・除籍・放校などの処分を受けた。戦争反対や大学の自治・研究の自由まもる天皇制ファシズムとの闘いは抹殺されてきたが、いま改めて検証する意義と訴えました。それぞれ持ち帰って相談を深めようと申し合わせました。



衆院本会議での主要政党の態度 (×反対 ●賛成)

軍需産業支援法案	共産×立民●自民●公明●維新●国民●
軍拡財源法案	共産×立民×自民●公明●維新×国民×
入管法改悪案	共産×立民×自民●公明●維新●国民●
原発推進等5法案	共産×立民×自民●公明●維新●国民●
マイナンバー法等	共産×立民×自民●公明●維新●国民●

会期末(6月21日)までわずかになりましたが、国会では、

通常国会は重大事態!
これまでにない悪法が次々に!
軍拡財源法! マイナ保険証!
原発推進法! 入管法改悪!

2024年2月の京都市長選に向け、市民などをつくる「つなぐ京都交流ひろば」が、5月16日に『こんな京都にしたいなあみんなで懇談会』を、中京区で開催しました。「ひろば」の藤井伸生さん(京都華頂大学名誉教授)が、市政の現状と課題について報告。各地域や団体・分野での懇談会開催とともに「住み続けられる市にするために、それにふさわしい候補者をつくっていきましょう」と呼びかけました。

来年2月の市長選に向け懇談会
「つなぐ京都交流ひろば」

自民、公明、維新、国民民主の4党が、くらしも平和も壊す悪法を衆院で強行し、今論戦は参院で、国民の不安や批判の声が大きく広がっています。

平和のための京都の

戦争展ご案内

8/1(火)~8/6(日)
長浜バイオ大学京都キャンパス

京都市上京区河原町広小路上
京都府立大学付属病院向かい
(市バス府立医大病院前)

訂正

不屈5月号の宇治洛南支部
総会の報告記事で
副支部長「磯」貝建夫(新)
さんとあるのは、
「塩」貝建夫さんの間違い
でした。訂正し、お詫び申
あげます。

戦争展の文化企画の一環として

▼8月6日(日) 午前10時から治安維持法国賠同盟の主催で
「映画わが青春つきるとも」をアンコール上映します。

▼国賠同盟もパネル資料を多数展示します

▼特別企画

○7月15日(土) 午後2時~4時半 キャンパスプラザ京都
「ウクライナ戦争と太平洋戦争」山田朗氏(明治大学教授)

○7月22日(土) 午後2時~4時半 キャンパスプラザ京都
「ウクライナ戦争と台湾有事」孫崎亨氏(外交評論家)